

オットーボック装具 取扱手引書 ②（製品篇）

50A10 オモ インモビル

義肢装具士をはじめとする医療従事者の方々へ

このたびは本製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。本製品を安全にお取り扱いいただくために、ご使用前に必ず取扱手引書①（基本篇）と取扱手引書②（製品篇）をよくお読みいただき、使用される方に装着方法、使用上の注意、お手入れ方法などを必ずご案内ください。

また取扱手引書①②は、必要な際にいつでも参照できるようにお手元に大切に保管してください。

【適応・用途】

50A10 オモ インモビル

肩関節の各種疾患に伴う術後や外傷後などの安定のための肩関節外転位保持する装具です。0°、15°、30°、60°、90°の外転ブロックの角度選択により、保持角度を段階的に設定することができます。また、別注の外旋パーツにより外転位の角度調整と外旋位10°、20°、30°の角度設定をすることができますようになります



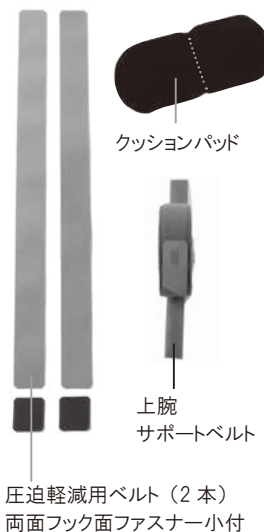
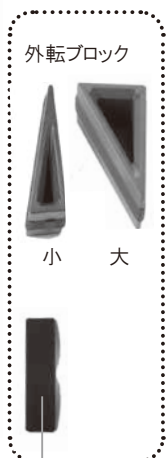
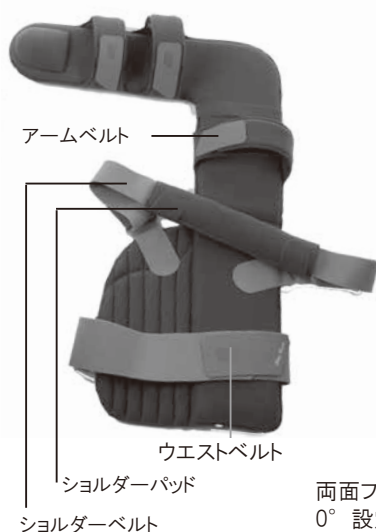
注意

● 適応については、必ず医師の診断を受けてください。

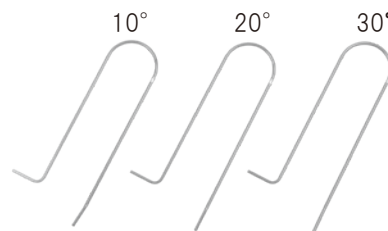
【内容物・名称】

本体フレーム（布製カバー付）

外転角度用パーツ



外旋パーツ



発注品番(外旋パーツ) サイズ

29A222=R-S/M 右: サイズ S/M
29A222=R-L 右: サイズ L
29A222=L-S/M 左: サイズ S/M
29A222=L-L 左: サイズ L

※ 外旋角度調整を行う場合は、オモインモビル (50A10)と併せて上記発注品番にてお求めください。

【サイズの選び方】

50A10 は左右兼用です。装着者の身長によりサイズを選択してください。

（一箱 :1 個入り）

発注品番		サイズ	適用範囲/身長(cm)
オモインモビル			
50A10=S	左右	S	150 ～ 165
50A10=M	左右	M	165 ～ 175
50A10=L	左右	L	175～



※ 計測値が 2 サイズにまたがる場合は、大きい方のサイズをお選びください。

【装着手順と調整方法】



注意

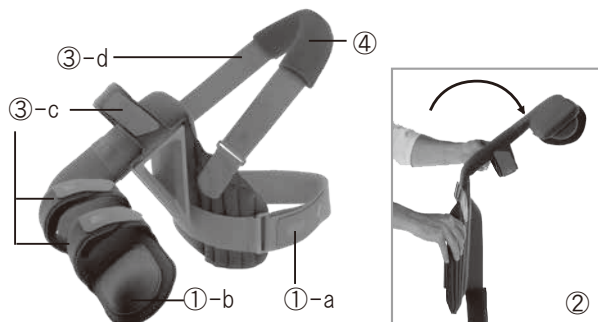
- 本製品を初めて装着される際には、必ず医師、義肢装具士をはじめとした医療従事者による調整と装着手順の指導が必要となります。

備考

- 本製品を日常的に使用される場合には、適切な装着のためにも、医療従事者、介助者などの補助のもとで装着することをお勧めします。

装着前に取扱手引書①基本篇の【使用上の注意—必ずお読みください—】をよく読み、また、医療従事者による装着手順の指導に従って、正しく装着してください。

1. 左肩関節用への設定変更



本体は左右兼用構造です。納品時には、右肩関節用に初期設定されています。左肩にご使用の場合、下記の指示に従って設定変更をしてください。

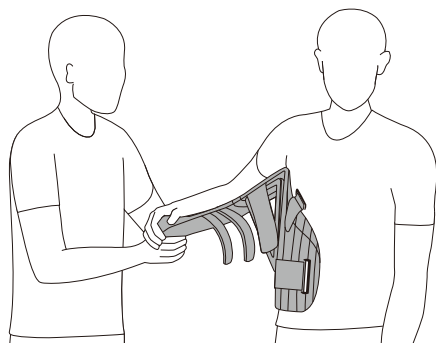
- ① ウエストベルト(a)、手掌パッド(b)を外し、反対側に付けます。ウエストベルトのカンが正面にくるようにしてください。
- ② 左肩に設置できるよう、上腕部を反対側へ折ります。
- ③ アームベルト(c)、ショルダーベルト(d)を外し、反転させます。
- ④ ショルダーパッドは抜き取らず、回転させるようにし、継ぎ目が肌側に触れないようにします。

2. 装着手順

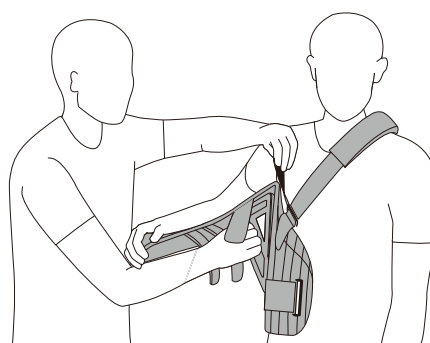
外転ブロックの選択を行ってから装着します。「3. 角度調整」もよくご覧ください。

備考

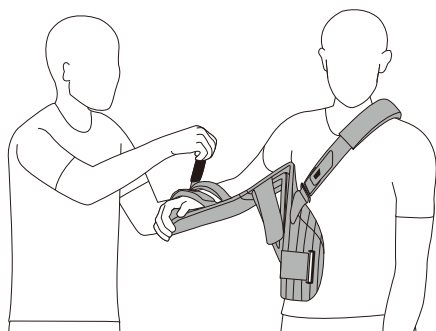
- 装着者の肩関節、上肢を安全にかつ適切な位置に保持するため、2人の調整者により装着および着脱を行なうことをお勧めします。



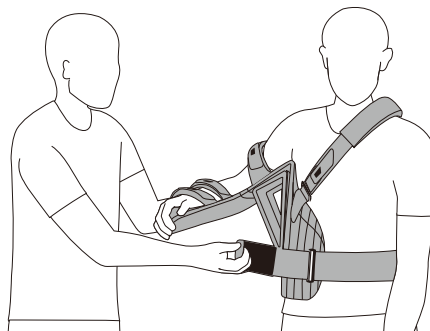
- ① 体幹と上肢に本体フレームを沿わせ、位置を確認します。



- ② ショルダーベルトを、肩にたすき掛けします。このときにショルダーパッドが頸部周辺に来るように調整します。ベルトが長すぎる場合は、適宜切って使用してください。



- ③ 手掌パッドの位置を確認し、アームベルトをそれぞれ留めます。



- ④ ウエストベルトの高さを確認し、留めます。ウエストベルトが長すぎる場合は適宜切って使用してください。

全体を強く締めすぎないように注意し、正しく装着、調整されているか確認してください。

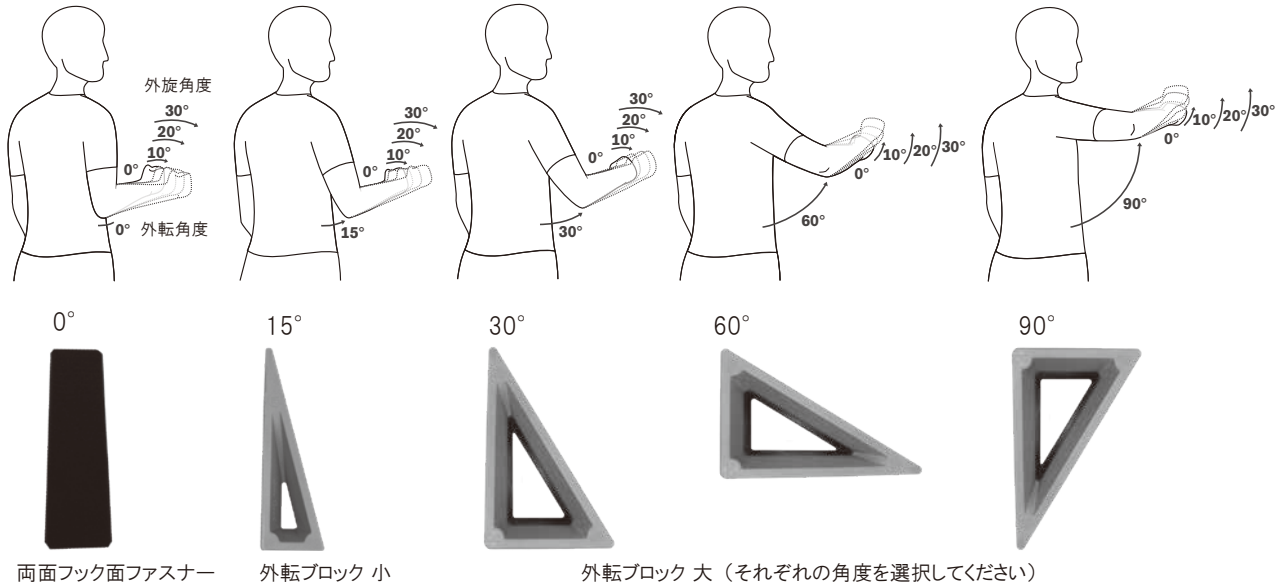
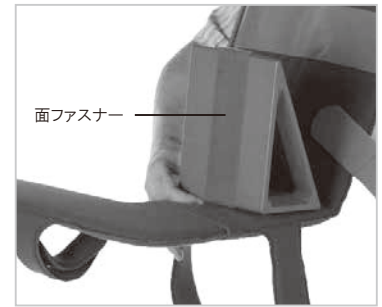
装具により上腕骨頭が上方に押されていないこと、または腋窩部が圧迫されていないことを確認してください。必要に応じて、医師や義肢装具士などにより、腸骨稜周囲のパイプフレームを調整することができます。

3. 角度調整

オモ インモビル (50A10) は下記の角度調整ができます

A 外転角度調整

任意の外転角度を付属の外転ブロックから選択し、面ファスナーで取り付けてご使用ください。の外転角度調整については次項をごらんください。



両面フック面ファスナー

外転ブロック 小

外転ブロック 大 (それぞれの角度を選択してください)

B 外旋角度調整

外旋角度の調整は、外旋パーツを用いて行います。(50A10 は発注品番 29A222 にて別注)

前腕部分の初期設定は、肩関節内外旋 0° (中間位) に設定されています。任意の外旋角度のついたパーツに交換して使用します。



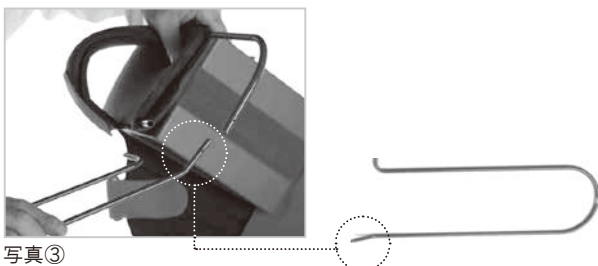
写真①

- ① 前腕カバーを取外します (写真①)。
カバーは上腕部、前腕部のつなぎ目から面ファスナーを外すととることができます。



写真②

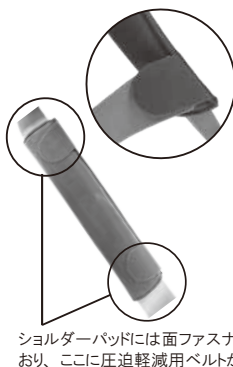
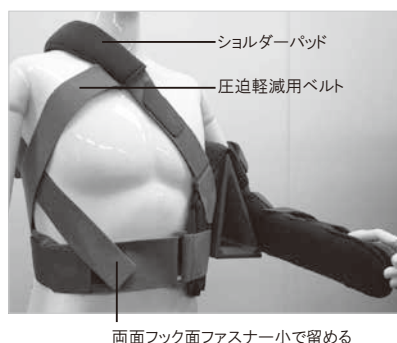
- ② 連結部のロックピン (2 カ所) を外します。(写真②)



写真③

- ③ 任意の外旋パーツと交換します。(写真③)。
- ④ ロックピンを戻し、カバーをつけ直します。

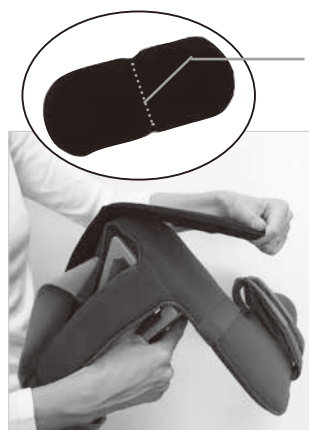
4. 圧迫軽減用ベルトの使用方法



ショルダーベルトにより肩や頸部周辺の圧迫、食い込みが強い場合には、付属の圧迫軽減用ベルトを使用します。

圧迫軽減できるように、反対側に向かってベルトを取り付けます。ショルダーパッドの両端に1本ずつ取り付け、2本を体幹部でクロスさせます。両面フック面ファスナー小で、ウェストベルトに留めます。

5. クッションパッドの使用方法

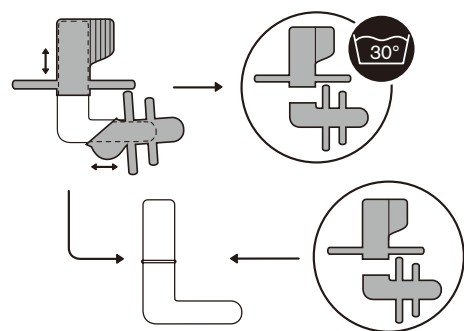


外転肢位により、腋下などへの当たりが強い場合には、付属のクッションパッドで緩和します。

- ① クッションパッドを両面フック面ファスナーで、腋下が当たる部分に取り付けます。
- ② 腋下以外にも体幹部等にも使用することができます。

【お手入れ方法と注意事項】

- 注意** ● お手入れをされる場合には、取扱手引書 ①【お手入れ方法と注意事項】を必ずご覧ください。



本体フレームの布製カバーおよび各ベルトは、手洗いで洗濯ができます。

- ・ お手入れ前にパイプフレームを含む本体フレームを布製カバーから外し、手掌パッド、外転 / 角度用パーツなどは取外してください。また、面ファスナーのフックとループ部分を取外してください。
- ・ 30℃以下の水と中性洗剤を使用し、手洗い、陰干しをしてください。布製カバーは温設定（デリケート サイクル）で乾燥機の使用ができますが、お使いの乾燥機の仕様を確認した上で使用してください。
- ・ 乾燥後、本体フレームに布製カバーを被せ、手掌パッド、全ての面ファスナー、外転用パーツを再度元通りに取付けてください。

【品質表示】 本体フレーム：スチール 本体カバー：発泡フォーム ベルト：ナイロン

お問い合わせ先

掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

輸入販売元

オットーボック・ジャパン株式会社 www.ottobock.com/ja-jp

〒105-0012 東京都港区芝大門1-9-9 野村不動産芝大門ビル 4F TEL: 03-6739-4090 (代表) FAX: 03-6739-4097